

金属加工の産学連携を促し 社会実装につなぐ

天田財団

北陸で産学交流会開く

天田財団が産学連携の支援を拡大している。アマダホールディングス創業者・故天田勇氏の個人資産を基金に1987年に設立された同財団は、これまで塑性加工、レーザープロセッシングの研究や国際交流などに計1460件、金額21億円を助成してきた。ここにきて研究者と企業を結びつける活動を進め、社会実装に導こうとしている。昨年、初の産学交流イベントを福岡県で開催。今年2月に石川県・金沢で開いた第2回の交流イベント「北陸産学交流会」には、定員を上回る108人が参加。会場では熱心に情報交換する姿が目立った。



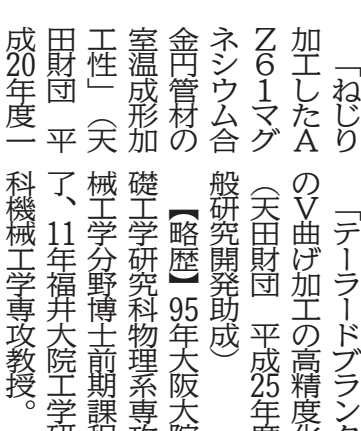
会田氏



古本氏



大津氏



大津氏

イノベーション創出に向けた産学連携に、何が大切だろうか。日本はモノづくりに産業が成功し、大企業を中心にした産業構造が続き、起業が進まなかった。技術開発から実用化まで大学の技術の移転促進、ベンチャー促進が叫ばれるが、いま一つ進んでいないのが率直な印象だ。国が考えられる。さらに社会・イノベーション・エコシステムに関わり、研究開発型ベンチ

金沢大学長 山崎 光悦氏

技術開発から市場開拓まで連携

モノ造りの未来と産学連携

記念講演

招待講演

金沢大学、富山大学、福井大学、平成25年度一般研究開発助成金。金沢大学の研究者から天田財団の助成を受けた研究成果の講演があった。

「モノづくりによる各種工場の熱心な貢献」(天田財団)

主催者あいさつ

研究助成と成果普及・啓発の両輪

公益財団法人天田財団 代表理事 岡本 満夫



昨年7月に福岡で「九州産学交流会」を開催した。導的な役割を果たすイノベーションのシーズである研究が、皆様の支援をもとに研究成果を産業界へ普及・啓発のうちに終わり、本日、産学交流会を開く。その上で連携は非常に大事であり、当財団はその連携の仲立ちをしていく。本日の「北陸産学交流会」の公益事業とは、金属加工、レーザー加工などの「産」との連携を強化する絶好の機会である。産学連携の橋渡し役として、今後も研究者がよりよい研究成果を普及・啓発することによって、産学技術の振興、産業界の発展に貢献したい。

昨年7月に福岡で「九州産学交流会」を開催した。導的な役割を果たすイノベーションのシーズである研究が、皆様の支援をもとに研究成果を産業界へ普及・啓発のうちに終わり、本日、産学交流会を開く。その上で連携は非常に大事であり、当財団はその連携の仲立ちをしていく。本日の「北陸産学交流会」の公益事業とは、金属加工、レーザー加工などの「産」との連携を強化する絶好の機会である。産学連携の橋渡し役として、今後も研究者がよりよい研究成果を普及・啓発することによって、産学技術の振興、産業界の発展に貢献したい。

来賓祝辞

YKK取締役副社長 大谷 渡氏



チーム富山で連携

私は富山のモノづくりに企業230社が加盟する「富山県機電工業会」の会長を務めている。富山県はモノづくり立県。中堅・中小企業の1社1社に特徴と強みがある。富山のモノづくりを強化するには、各社が強いことをさらに強める必要がある。特長をさらに強めることが第一だ。事業環境が刻

チーム富山として産学連携を強化する。官金が一歩で進める必要がある。富山県はモノづくり立県。中堅・中小企業の1社1社に特徴と強みがある。富山のモノづくりを強化するには、各社が強いことをさらに強める必要がある。特長をさらに強めることが第一だ。事業環境が刻

産学連携紹介

金沢大学 産学官連携推進本部 部長 准教授 目片 強司氏

研究成果を還元



金沢大学は世界で卓越した教育研究をする大学として、社会実装を推進している。産学連携を通じて、大学の研究成果を社会に還元すること、地域に開かれた大学であり続けることが重要だと考える。

私が所属する先端科学・イノベーション推進機構は、全学横断で研究成果の最大化を目指す支援部門だ。学外にTLO(技術移

富山大学 産学官連携推進センター 部長 教授 高辻 則夫氏

富山の医工連携の好例に、医療用ツールの開発がある。パネリストの金、めがね産業が得意とする純チタン、高硬度特殊鋼のそれぞれの特徴を生かす技術と意匠デザイン、耐久性、色付けなどを、現場の先生に話をうかがいながら作り上げた。富山の工業技術センターも、航空宇宙分野への挑戦や自動車の先端のところで仕事をしたいといった次のコアコンピタンスをどうするかを考えておられる方が、多く対話をさせていただきたい。

富山の医工連携の好例に、医療用ツールの開発がある。パネリストの金、めがね産業が得意とする純チタン、高硬度特殊鋼のそれぞれの特徴を生かす技術と意匠デザイン、耐久性、色付けなどを、現場の先生に話をうかがいながら作り上げた。富山の工業技術センターも、航空宇宙分野への挑戦や自動車の先端のところで仕事をしたいといった次のコアコンピタンスをどうするかを考えておられる方が、多く対話をさせていただきたい。

職業訓練法人アマダスクール紹介

アマダスクール 理事長 末岡 慎弘氏

アマダスクールの活動は天田財団と同様の公益事業である。年間2300人以上が受講し、78年の創設以来、8万5000人が学んだ。昨年、中堅・若手の経営者を対象にした経営者フォーラムをスタートした。ま

た、89年からは「優秀板金製品技能フェア」を開催し、今年20回を迎えた。講座のうち、経営後継者育成講座(JMC)は、22日間の合宿研修だ。自分の息子を教育するのは難しいという受講動機が多い。同じ経営後継者の仲間と合宿し、ともに学び、絆を強める意味合いも大きい。座学は労働管理や国の中小企業施策、自社の経営を分析するなどの内容だ。

「金沢、富山、福井の3大学の講演から、イノベーションを活性化したいという強い意思を感じた」。日刊工業新聞社社長の井水治博の祝辞、財団理事で東京大学・木内県・福井県工業会、石川県・福井県工業会、石川県・福井県工業会が支援した。天田財団は、17年度に3回目の産学交流会を計画

功を見て取れた。懇親会会場には第28回優秀板金製品技能フェア受賞作品などが展示された。石川県の小林製作所「イコマ」メカニカルからは、日刊工業新聞社賞を受賞した作品のモノづくりに関するエピソードなどが披露された。交流会は富山県機械板金工業会、石川県・福井県工業会、石川県・福井県工業会が支援した。天田財団は、17年度に3回目の産学交流会を計画

懇親会

連携活発に交流会は成功

「金沢、富山、福井の3大学の講演から、イノベーションを活性化したいという強い意思を感じた」。日刊工業新聞社社長の井水治博の祝辞、財団理事で東京大学・木内県・福井県工業会、石川県・福井県工業会が支援した。天田財団は、17年度に3回目の産学交流会を計画

功を見て取れた。懇親会会場には第28回優秀板金製品技能フェア受賞作品などが展示された。石川県の小林製作所「イコマ」メカニカルからは、日刊工業新聞社賞を受賞した作品のモノづくりに関するエピソードなどが披露された。交流会は富山県機械板金工業会、石川県・福井県工業会、石川県・福井県工業会が支援した。天田財団は、17年度に3回目の産学交流会を計画

金沢大学長 山崎 光悦氏



最高かつ不可欠な手段

わが国は産業競争力を誇ってきたが最近はその状況が、大変重要になるだろう。共同研究開発・知財の創出、大学発ベンチャーに打ち勝つには企業大学、ナードとして新しい地平を切り開くために最高かつ不可欠な手段だと思つた。金沢大学は独創的な活動と新たな価値を追求する研究で、世界をけん引する研究

価値を生み、大きな社会的変化を生み出すものであるべきだ。そのために企業・生産システムによるオンデマンドのつくりシステムの開発や研究と、産学の力を結集して行う研究所の建設を目指した取り組みを始めた。

平成29年度
天田財団助成研究成果
発表会のご案内

第1回 レーザプロセッシング 助成研究成果発表会
日時：平成29年6月2日(金)
場所：神奈川県伊勢原市石田350 FORUM246
後援：一般社団法人 レーザ加工学会

第15回 塑性加工 助成研究成果発表会
日時：平成29年6月8日(木)
場所：〈講演会〉岐阜市じゅうろくプラザ／〈懇親会〉岐阜シティ・タワー 43
後援：一般社団法人 日本塑性加工学会

お問い合わせ・お申し込み
公益財団法人 天田財団 THE AMADA FOUNDATION
〒259-1116 神奈川県伊勢原市石田350番地 TEL:0463-96-3580
参加無料 5月1日より天田財団HPにて参加受付開始予定